



Hot & Unique ゼミ活動ご紹介

商・宮川ゼミ

プロも顔負けの徹底した企業価値分析  
コーポレートファイナンスの専門集団  
宮川ゼミナールが NTN の理論株価算定にチャレンジ

コーポレートファイナンス理論の実証研究を専門とする大阪市立大学商学部・宮川ゼミナール（担当：商学部 宮川 寿夫 教授）は、今年の春から NTN 株式会社（本社：大阪市西区、代表取締役社長：大久保 博司）の協力のもと、理論株価算定プロジェクトを発進させました。11月7日（水）に行われた最終報告会では、同社の広報・IR 部ならびに経営企画部のプロを前にして、プレゼンテーションを行い、プロ顔負けの精緻な分析に企業側をうならせました。

内容は競合他社 5 社を選定し、業界構造の分析や過去 10 年間の企業比較を行った上で、同社の将来 5 年間の予測財務諸表を作成、最終的な株価算定を行うという詳細なものでした。宮川ゼミの同プロジェクトは、産業調査や膨大な財務データの分析に始まり、数度にわたる企業へのインタビュー取材に加え、三重県にある同社の主力工場ならびに研究所の視察を行うなど本格的なプロセスをとりました。最終報告会では株価の適正水準について企業側の見解と合わせて議論を行うという非常にユニークなものです。

本ゼミナールの活動についてご取材をご検討いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

●これまでの活動内容

① 4月にチーム分けして対象企業を選定

担当の宮川教授が企業側に趣旨説明と研究協力の依頼に訪問。（投資銀行出身の同教授は関西地区の上場企業にコネクションが多い）

② 5月23日に日経メディアによるデータ収集の講習会を実施

まずはデータ収集の手法から学ぶ。日経メディアマーケティングのスタッフにお越しいたごき、ソフトの使用方法やデータの保存方法など基本を学ぶ。

③ 6月には同業他社を選定し、比較分析レポートを作成

同業他社 5 社を選定し、過去 10 年間の財務分析を行い、対象企業の特徴を明らかにする。ゼミでは毎回進捗状況が学生より報告され、そのたびに宮川教授から多くの指摘を受ける。



- ④ 6月20日にアナリストをゼミに招いて企業分析の心得を学ぶ  
投資銀行出身の宮川教授のコネクションにより現役のIBアナリストをゼミに招き、企業分析の心得やプロとしての分析の考え方などを習う。



- ⑤ 6月26日には大阪取引所を訪問し、市場の現場を見学



理論株価算定のプロジェクトを行う上で取引所の見学も欠かせない。株式市場の歴史を学ぶとともに大阪取引所の山道社長に直接お話を伺う。(ここも宮川教授のコネで、山道社長は同教授の元上司)

- ⑥ 7月12日に同社を訪問し、レポートをもとにインタビュー

自分たちが集めた膨大なデータを持って対象企業を初訪問。  
事前にミーティングアジェンダを準備し、ディスカッションポイントを明らかにしたうえで多くの質問が飛び出す。企業側にも企業概要や将来戦略に関するプレゼンテーションを準備いただく。



- ⑦ 夏合宿で株価算定の理論をマスター

小豆島に合宿を張り、理論株価算定のプロセスを徹底的にマスターする。すでに教科書で知識を得ているため、ここでは実践的な計算過程を試すことになる。



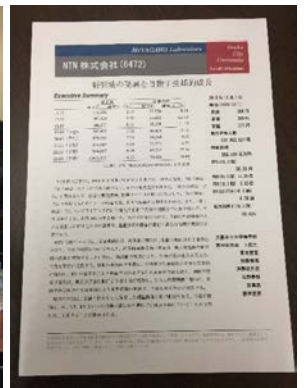
⑧ 9月6日に同社の主力工場である桑名製作所ならびに先端技術研究所を視察



実際の生産現場を見るときにも研究所では最先端の技術と今後の技術革新の方向性について学ぶ。研究開発投資関連の数値についてすでに確認済みの学生は、研究開発の内容を実際に体験する。

⑨ 11月7日、いよいよ最終報告会

広報IR部門ならびに経営企画部門の部長以下スタッフを前にプレゼンテーション。100ページに及ぶ資料を携え、理論株価算定に至った詳細な分析を披露し、企業側をうならせた。同時に企業側へは分析レポートが渡される。



商学部 宮川 寿夫 教授

担当教員からのコメント

「学生の研究のために多くのご支援とご協力をいただいた企業に感謝申し上げます。大学にこのような研究の機会と素材を積極にご提供いただくことは企業のESG推進活動の一環としても高い評価ができると思います。

また、インターンシップの本来の意味としても学生にとって非常に意義のあることだと感じています。学生にとっては自分たちが勉強していることが空理空論ではないことを知ると同時に、現実の企業経営には計算式で解決するものではなく、固有の特別解が存在することを実体験として学んだと思います。」

【本件に関するお問合せ先】

大阪市立大学商学部 教授 宮川 寿夫  
E-mail : miyagawa@bus.osaka-cu.ac.jp

【報道・取材に関するお問合せ先】

大阪市立大学広報室 担当：三苫（みとま）  
TEL : 06-6605-3411  
E-mail : t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp